

第1回平塚駅周辺地区将来構想検討会議 会議録

1. 日 時 令和5年6月2日(金) 午前10時00分から午前12時00分
2. 場 所 市役所本館720(1)(2)会議室
3. 出席者 構成員 10名(敬称略)
梶田 佳孝、野原 卓、入江 彰昭、三浦 詩乃、白石 慎太郎
飯田 素子、吉田 忠司、早川 昌忠、井上 雅己、市川 雅範
事務局 8名
田代都市整備部長、高梨中心市街地活性化担当課長
森川課長代理、担当5名
4. 傍聴者 なし
5. 議 題
 1. あいさつ
 2. 座長の選出
 3. 会議の公開・非公開
 4. 議題
 - (1) 検討経過と今後のスケジュールについて
 - (2) 平塚駅周辺地区将来構想策定に係る学識経験者等へのヒアリング・アウトリーチ・商業者アンケートの実施概要等について
 - (3) 平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)(市案)について
6. 配布資料
 - 資料1 検討経過と今後のスケジュール
 - 資料2 平塚駅周辺地区の将来構想策定に係る学識経験者等へのヒアリング・アウトリーチ・商業者アンケート実施概要等について
 - 資料3-1 平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)(市案)
 - 資料3-2 平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)(市案)(公表版)

参考資料

- 1 平塚市情報公開条例(抜粋)
- 2 平塚駅周辺地区将来構想検討会議要綱
- 3 学識経験者へのヒアリング等の結果の概要及び反映について

7. 会議内容

(1) 検討経過と今後のスケジュールについて

座 長：検討経過と今後のスケジュールについて、まずは事務局から説明をお願いします。

事務局：資料1「検討経過と今後のスケジュール」について説明をさせていただきます。昨年度は、部長を委員とした策定委員会と、課長を委員とした策定部会をそれぞれ2回開催するとともに、市民や商業者を対象としたアンケートや、アウトリーチ、また、本日も集まりいただきました関係団体の皆様や学識経験者へのヒアリング、庁内照会を行い、本日も示した資料3「将来構想（たたき台）（市案）」としてまとめさせていただきました。こちらは、駅周辺地区に将来において求められる機能について、場所の限定をせずに記載したものになります。

今年度は、4月に策定部会や策定委員会を実施し、庁内での検討を行うとともに、本日のこの検討会議にて、皆様方からそれぞれのお立場での専門的な意見を聴取させていただき、庁内での意見も含め、「将来構想（たたき台）」を策定してまいります。

その後、更に庁内での検討や、関係団体のヒアリング、市民へのアウトリーチ、検討会議での意見聴取などを踏まえ、たたき台をもとにエリアや路線に必要な機能を整理した「素案」を今年度中にまとめる予定です。

令和6年度は、この素案に基づき、検討や意見聴取、パブリックコメントなどを実施し、たたき台を実現するための推進方策を含めた「将来構想」を策定することとしています。なお、お話しした策定までの流れを、わかりやすく図示したものが資料3-1の3ページにありますので、後ほど確認をお願いします。

座 長：スケジュール等について何か質問や御意見ありますでしょうか。御意見も無い様なのでこのスケジュールに沿って進めていきたいと思えます。

(2) 平塚駅周辺地区将来構想策定にかかわる学識経験者等へのヒアリング・アウトリーチ・商業者アンケートの実施概要等について

座 長：平塚駅周辺地区将来構想策定にかかわる学識経験者等へのヒアリング・アウトリーチ・商業者アンケートの実施概要等について、事務局から説明をお願いします。

事務局：資料2「学識経験者等へのヒアリング・アウトリーチ・商業者アンケートの実施概要等」について説明をさせていただきます。先ほどお話ししたように、このたたき台の作成に当たり、様々な方から御意見をいただいております。

まずは、本日お集まりいただいている学識経験者や関係者の方々へのヒアリングとして、今年の1月から3月にかけて行わせていただきました。裏面を御覧ください。次にアウトリーチです。こちらは、事前に行った市民アンケートで回答の少なかった学生や子育て世代等の若者を中心とした意見を反映させるために行ったもので、市内5か所で実施し、354名の参加を得ました。最後に商業者アンケートですが、今年の2月14日から3月3日にかけて24商店会、642通を実施し、3月末で227通の回答（回収率35.4%）を得たところです。

なお、聴取した意見内容やたたき台への反映状況は、参考資料3にまとめていますので後ほど確認していただければと思います。

- 座長：これにつきまして何か御意見御質問がありますでしょうか。
- 構成員：資料2の裏面「2.アウトリーチ」、参考資料3の13ページ「アウトリーチ結果の反映」について、具体的にどのように行ったか教えていただきたいです。「回答の少なかった学生や子育て世代の若者の意見を反映させるため」とありますが、実際にららぽーとやラスカでは若い世代のみに聞いたということか、狙った結果様々な属性が混ざっているのかを教えてください。属性が混ざった結果の反映になっているため、結果が中庸になってしまっているのので、詳細を教えてくださいと思います。
- 事務局：概略になりますが、354名の回答のうち40代までが241名で全体の約7割で比較的若い世代の内容を聞いているかと思います。市民アンケートについては、848通の回答で65歳以上が358通、全体の4割を占めています。つまり市民アンケートでは年齢の高い方々の御意見、アウトリーチでは40代以下の方々の御意見が聞けたことである程度バランスは取れたと考えております。また、若い世代の関心のあるところでは子育て関係、わくわくするようなまちになってほしいというイメージを意見としていただいております。
- 構成員：資料3-1ではアンケート結果が世代別に分かれていますので、こちらも分かれています結果があると比較もできるため、参考になるかと思います。

(3) 平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)(市案)について

- 座長：それでは、平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)(市案)について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局：資料3-1の冊子版と資料3-2のA3版を御覧ください。資料3-1については、前半部分において、現状や課題、市民アンケートの結果、国などのまちづくりへの考え方など、今回のたたき台にある将来像を定めていく上でのエビデンス等も含まれており、たたき台作成後の手もちの資

料として活用していくものと考えております。

資料3-2については、資料3-1からまちづくりのコンセプトや将来像の方向性、そのイメージをわかりやすく図にしたイメージパースの部分を抜き出しまとめたもので、市民や関係者との理解を共有し、意見をいただくため、活用をしていくものと考えております。

次に構想の内容について説明します。資料3-1を御覧ください。1ページを御覧ください。まず策定の背景と目的ですが、駅周辺では、様々な要因により、駅北口から地区中心部への歩行者交通量が減少や地区の商圈が縮小し、賑わいが喪失しつつあります。このため、当該地区の将来像を市民や事業者等と共有し、持続可能で賑わいや活気のあるまちづくりを実現するため、策定することとなりました。次に策定の考え方ですが、現状や課題を確認するとともに、国によるまちづくりの考え方や本市の都市づくりの方針である総合計画や都市マスタープランなどを踏まえ、20年後の望ましい将来像を示し、その実現方策を検討していくこととされています。なお、この構想の対象エリアは、資料にあるとおりです。

次に2ページを御覧ください。構成は資料にあるとおり、大きく4つの構成としています。

4ページを御覧ください。ここから14ページまでは、現状のまま20年経過した姿を想定しています。5ページから7ページを御覧ください。こちらでは、建物及び都市基盤の現状に触れており、築年数が30～40年を超えた建物が多く、また、道路や公園についても整備から時間がたっていることを記載しています。

次に8、9ページを御覧ください。こちらでは、歩行者交通量を平成28年と令和元年とで比較したもので、駅から北に向かう道路では一部で増加しているところがありますが、中央から西側のエリアで減少傾向があることと今後来街者数が減少することを記載しています。

次に10～13ページにかけては、市民ニーズ等のデータをまとめたものを記載しています。まず、市民が駅周辺に求める機能ですが、10ページ中段にあるとおり、買物しやすい、ゆっくりと時間が過ごせる場、誰もが気軽に集まれ賑わいのある場、おしゃれな雰囲気がある場などが挙げられています。次に12ページを御覧ください。こちらでは、当該地区の商圈を整理したのですが、商圈としては近隣地域が主になっており、品目ごとの駅周辺のシェアを見てもシェア率が高いものは少なく、駅周辺が買い物の中心とは言えない状況を示しています。次に13ページを御覧ください。こちらは平塚市だけでなく全国のトレンドではありますが、生産年齢人口が減少し、高齢人口が増加するため、高齢者の過ごしやすい

まちづくりが求められるとともに、子育て世代の郊外への移住傾向があり、若い世代の移住を誘導し、多世代が居住するまちづくりが求められます。

次に14ページを御覧ください。こちらでは、これまでの内容を踏まえ、現状のまま20年が経過した姿として、建物や都市基盤の老朽化が更に進み、来街者が減少し賑わいが低下するとともに、市民ニーズとの乖離がさらに続くといった悪循環となり、地域経済活動が停滞しないようにするため、駅周辺地区の再整備が必要という旨でまとめています。

次に15～18ページでは、これからのまちづくりということで、こちらでは、当該地区周辺にかかる上位・関連計画の位置づけを整理するとともに、国の政策をもとにまちづくりの動向を整理し、まちづくりの考え方を設定しております。16ページにおいては、県の計画などの上位計画等における当該地区の位置づけとして、「東海道を始めとする歴史性や商店街等の地域資源を活かした個性・魅力あるまち」、「本市の中心市街地、湘南都市圏域の広域拠点として、交流が促進し、賑わいが継続するまち」、「事業の継続や新たな仕事づくりに資するまち」、「まちの機能更新による価値向上及び多機能化したまち」、「多世代が暮らしやすく、誰もが活動しやすいまち」、「誰もが安全・安心に暮らし、働き、活動できるまち」の6つの視点に整理されます。

次に17ページを御覧ください。国のまちづくりの動向を踏まえ、当該地区のまちづくりに取り入れるべきものとして、「歩行者や自転車優先で居心地が良く歩きやすいまちを目指す、ウォークアブルなまちづくり」、「新たなライフスタイルに対応したまちづくり」、「課題解決や新たな価値の創出に新技術を活用したまちづくり」、「環境負荷軽減等を図るため、グリーンインフラ等を活用したまちづくり」の大きく4つの動向に整理します。これら、6つの視点と4つの動向を踏まえて、駅周辺地区将来像の方向性を定めていきます。

次に19ページからは、当該地区の将来像の方向性を記載しています。次に20ページを御覧ください。こちらでは、学識経験者や関係者からの多くの意見を反映すべく、方向性をまとめる上で、広域的な視点から、駅前地区が担うべき役割を整理しています。駅前地区の特性として、一つ目として唯一の鉄道駅であることから、本市の玄関口となること、二つ目として駅を中心としたバス路線網や移動しやすい道路網など、市内から移動しやすい拠点であること、三つ目として先にも説明しましたが、近隣居住者の生活の場となっていること、これら3つの特性を踏まえ、駅前地区では、リアルな店舗で有効な商業サービスを伸ばしていくことや駅利用者、

市民、近隣住民の生活の場としての役割が求められています。

次に22ページを御覧ください。先の役割を踏まえたまちづくりのコンセプトは、「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」とします。駅周辺が人の集まる場所となり、それぞれの人にとって居心地の良い場となることを目指し、官民連携による空間づくりなどによるまちづくりを進めることとしています。この「リビング」というコンセプトについては、学識経験者からも好意的な意見をいただいているところです。コンセプトの中に、「質的豊かさ」という言葉がありますが、これは、市民アンケートで若い世代から「おしゃれな雰囲気がある場所」などが求められていることを受け、学識経験者から意見をもらったことによるものです。

次に25～44ページにかけてまちづくりの方向性を7つ記載しています。25ページを御覧ください。まず一つ目として、「地域資源・商店街の特色を活かしたまちの魅力づくり」です。これは、地域資源を活かしたまち全体での雰囲気づくりや通りごとの特色を活かしたまちづくりを進め、魅力の重層性の創出を目指すもので、学識経験者からの地域資源の活用や、眺望・景観の活用に関する意見を反映させています。

次に28ページを御覧ください。「賑わい・交流を創出するウォークアブルネットワーク」です。これは、歩行環境や情報案内の充実や交差点等の要所に賑わい・交流の空間を配置し、回遊性をもったネットワークの構築を目指すものです。

30ページを御覧ください。次に「多様な活動を支える機能誘導と配置」です。こちらは、商業を中心としたまちから、多様な目的を持った人が集まり様々な活動を行う場や、これから必要となる都市機能を誘導し、多機能なまちへの更新を目指すもので、学識経験者等の意見を踏まえ、高齢者のコミュニティ施設や医療施設などを追加しています。

36ページを御覧ください。次に「市街地の更新」です。これは、当該地区の建物・都市基盤の老朽化が進んでいることから、必要性の高いエリアでは、支援制度などを創設し、市街地の再開発や敷地の共同化を推進し、市街地の更新を進めるものです。関係者からの意見を踏まえ、考えられる支援内容を具体的に例示させていただいております。

37ページを御覧ください。次に「グリーンインフラの活用による快適性・防災性の確保」です。オープンスペースなどの緑化を進めることで、雨水の貯留効果に加え、市民等の癒しや賑わいを創出する緑のネットワークを形成し、まちの快適性や防災機能の確保を目指すもので、学識経験者等からのネットワーク化や緑でおおわれる土地の確保などの意見を反映させています。

40ページを御覧ください。「移動しやすい環境づくり」です。こちらは、学識経験者からの意見を踏まえ新たに設定したもので、当該地区へのアクセス性を確保するとともに、だれもが歩きやすい歩行環境の整備やパーソナルモビリティの充実などによる地域内の移動性の向上を図ることで、だれもが集まり、移動しやすい環境づくりを目指すものです。

43ページを御覧ください。最後に「スマートシティと平塚発の新技术の活用」です。こちらは、当該地区が抱える交通や環境などの課題解決にAI等の先進技術や多くのデータをまちづくりに活かし、快適性や交流の創出を目指すとともに、平塚にある企業の技術をまちづくりに活用し、平塚の企業の魅力を発信し、地域経済の活性化を目指すものになります。

47ページ以降は、駅前地区の構成要素別の将来像を記載しています。市民アンケートの結果や学識経験者等の意見を踏まえ、イメージ図や説明文に反映させています。

まず、47ページの駅前広場のイメージですが、従来の駅前広場の機能に加え、滞留や交流の空間の整備などをイメージしています。

次に48から51ページの道路のイメージですが、誰もが歩きやすい歩行環境の整備は共通にし、場所に応じ、滞留・交流機能やグリーンインフラとしての植栽、デジタルサイネージ等の情報提供機器の設置、キッチンカー等の出店スペースとしての活用などをイメージしています。なお、「誰もが歩きやすい歩行環境」では、学識経験者等の意見を踏まえ、バリアフリー化された道路を維持するとともに、さらに歩きやすさを工夫するという表現にしています。

次に52から53ページの公園広場等のイメージですが、誰もが安心・安全に使い、多世代が活動できる場やグリーンインフラ等としての整備や空き地を暫定的な交流施設として活用することをイメージしています。

次に54ページからの市街地の再整備のイメージですが、建物の建替えや共同化によって、様々な都市機能誘致の機会が発生することや、公開空地等のスペースを活用した、賑わい・交流の場や環境負荷低減への活用をイメージしています。

最後になりますが、資料3-2の表紙を御覧ください。このたたき台については、具体的な場所を特定せずに駅周辺地区に将来的に必要なと考えられる機能をイメージとして作成したもので、今後このたたき台を基に各エリアや路線のイメージを市民や商店会等と調整しながら構想

を策定していきます。以上で、たたき台市案の説明は終わります。

座長：資料3-1、資料3-2に関しまして、御質問御意見等ありますでしょうか。

構成員：20年後の平塚駅周辺のまちを構想しようという趣旨だと思うのですが、より急ぎの地元の商業について等、空き家対策を含めた5年後にはこうなってほしい、10年後にはこうなってほしいというような、早めに手を打たなければならない事についての検討はこの会議の中でののでしょうか。

事務局：将来構想については概ね20年後の姿を想像して作っていますが、すべてが20年後にできるということではなく、内容に応じて20年間整備をしていき、まちがこうなっていればいい、ということをもとめさせていただいています。内容によってはすぐ手を出せるものもあれば、資料3-1の駅前の絵のように関係機関との調整や、市として資金的に相当時間がかかるものもあります。他のものについては絵のようにできなくとも、路上に椅子を置く等短期的にできるようなことも含まれているため、できることからやっていくという様に考えております。

構成員：そうであるならば、5年後にはこうしよう、10年後にはこうしようという様な分類がされていけば議論がしやすい様に感じます。

事務局：今後わかりやすい形でまとめていけるよう検討させていただきます。また、再整備等の支援制度につきましては、今年度から進めていきたいと考えております。令和6年度にアクションプランを作成しますが、その前に進められるものは進めていきたいと考えております。

構成員：構想が出てくればモチベーションにもなるため、お願いしたいと思います。

構成員：資料1との関係で確認をさせていただきたいです。資料1では令和6年度末に将来構想の策定とありますが、そのイメージは絵が出ているような資料3-2の様な検討レベルのものをまとめるということなのか、それともより具体的な話までなのか、将来構想としてまとめるものの最終イメージを教えていただければと思います。

事務局：本日の資料につきましては、場所を特定せずにまとめさせていただきますが、令和5年度ではさらに地区ごと、通りごとにまとめて素案としてと考えております。絵だけではなく、実行に移すための支援策については併せて来年度まとめる予定です。支援策が追加された中で、駅前周辺整備は市や関係者が共同して進めなければならないため、イメージの共有は重要なことだと考えております。内容が変わる可能性はありますが絵を出しながら資料3-2と似たようなものになると想定しております。

座長：資料3-2のようにイメージ図を作るということで、この方向性について

も御意見があればお願いしたいと思います。絵を出すことがミスリードになることもあるため、どのように進めるか、また支援策との連携についても御意見頂ければと思います。

構 成 員：記載されている絵について、48ページの道路を変えていくというアイデアは詰め込まれていますが、最終版に向けてはそれによって変わってほしい沿道とその関係性についての書き込みをしていただきたいと思います。何を見せたいのかをそれぞれ精査したほうが良いと思います。例えばバリアフリー化された道とiiつつ、車いすの方が居ない等、イメージが大事であるといiiつつメッセージとイメージに相違が見られる部分があるので今後改善していただきたいと思います。また、43ページではスマートシティの話がありますが、各地課題解決型の事例があると思うのですが、地域の方の意見を収集するようタイプもあるのではないかと考えています。私鉄が多いですが鉄道事業者が移動量を高める意図でエリアマネジメントによって地域や沿線のコミュニティを高めていくということもあります。MaaS というキーワードを掲げつつ様々なコミュニティを繋ぐような事例や、必ずしも自治体主導でなく、事業者やエリアマネジメントの方々がアプリ等を利用する事例もあります。キーワードを見るとそのような事例の方が適しているのではないかと考えました。

座 長：イメージ図には平塚らしさが必要になると思います。マネジメントを含めた組織体をどうするかという話も入れ込むか検討していただければと思います。

事 務 局：新しい施設を作っても運用する所がなければうまくいかない部分もあります。また、まちを活性化するためのエリアマネジメント組織についても育成を図らなければならないと考えております。現状として平塚まちなか活性化隊(以下、まち活)では商店主が中心になって活動しており、活動自体も軌道に乗ってきているため、今後もまち活の支援等からエリアマネジメントに繋げていければと考えております。

構 成 員：地区内で進んでいる事業について、エリアマネジメントをどうしていくかという話をディベロッパーの方としている所でもありますので、エリアマネジメントについて組織化することは急いでもらいたいと思います。平塚の玄関口に近いところなので、是非お願いしたいと思います。

構 成 員：資料3-1の37ページの絵について、木陰の提供による気温の低下等の緑陰効果を追加してもらえればと思います。また、グリーンインフラに多様な機能、多機能という記述をしていただければと思います。もう一点、50ページ新技術を活用した道路のイメージの絵について、地下の土壌の部分に木の根が生育していることがわかる様に描いてもらいたいと思

ます。街路樹には台風等により倒れやすいという危険性もありますので、根上りの問題もありますが地下に土壤環境を整えることも重要ですので、追加で描ければお願いしたいと思います。

構 成 員：3点ほどございまして、1点目は今回の20年後の将来構想について、近年20年後の予想が中々しづらい中で、いきなり空間や場所の20年後を描くよりも、20年かけて駅前でどのような人に、どのように集ってもらうかを具体的に考えることが大事だと思っています。例として千葉県の柏市はまちの再編を考える際、具体的な数字の変化等でイメージ床面積のようなものを描いてみるということをしていて、100%の復活は難しいですが住宅のみになっても困るので、ある部分はこれからの賑わいを守りつつ、どのようにしたら新しく入ってくる住民の人が一緒にできるかを具体的に考えながらまちの姿を変えています。そのようなステップを間に入れて、どのような人が集まってどのような活用をしてくれるのが大事かをイメージしながら、その人達に向けて育成するなど、動き出すことが大事かと思っています。

2点目として周辺の環境の現状の動向、あり方は調査しながら進めてほしいと思います。例えば駅から市役所へ西側から行こうとすると行きづらく、どうしても東側を通ってしまいます。そこが少し改善されると選択肢が一気に広がり、そこで西側に魅力のある場所があれば寄ってから訪れるようになるのではないかと思います。また南口に出る人が増えたとき、その方々がまちを巡りながら使えるようにする方法を考える等1つ1つを見ていくと様々な状況があると思います。また、このあたりは戦災復興の頃の街区公園が多いと思いますが、渋谷区、豊島区では駅の近くの街区公園をリニューアルするということを盛んに進めています。このあたりでも使っているユーザーが合っていない様なもったいない使い方になっている場所等が見えてきますので動向を見ながら進めると良いのではと思いました。

3点目としてイメージ図というのは諸刃の剣でもあって描いてしまうところなると思われてしまうので、バランスがとても難しいと思います。もう少し議論してから絵を最終的に完成させていくという順番で進める方が良い気もします。共有する部分を集めながら絵を更新するというプロセスも大事だと思うので、気を付けながら進められると良いと思いました。

構 成 員：先ほどエリアマネジメントの話がありましたが、歩きたくなるようなソフトがなければハードの整備があっても歩かないと思います。現状の平塚駅南口を例にあげれば、一般車、バス、タクシーが雑然としていて渋滞をお

こしています。交通施策の整理等も出てきますので、周辺地区の中でもエリアマネジメントをしながら作っていくといいのかなと思いました。

座長：自動運転についてもまちをうまく作ると使いやすくなるのではと思いました。

構成員：現状の平塚駅南口を例にすれば、歩行者、自家用車、その他モビリティが雑然としている状況を考えると自動運転は難しいので、交通の政策があってまちづくりがあるとよろしいかなと思います。

構成員：現在雨が降ると渋滞で身動きの取れない駅前になっているため、その部分も考えながら進めてもらえると事業者としても良いと思います。

構成員：駅前にどのような人に集まってほしいのか議論をして固めていきたいということと、イメージについてしっかり作ってしまうとそれありきの議論になってしまうので、イメージの更新は必要であると感じました。

構成員：中心市街地に必要な機能やイメージを膨らませるのにはこのような形になるとは思うのですが、実際そこにどのような人々が集まるのか、それは周辺の住民なのか、平塚市の郊外の人々を集めて賑わいを作るのか、などをイメージする際には車社会ということもあり、駐車場など必要なものがまた見えてくると思うのが一点です。また、構想を作った後、民間の資金を含めてみんながそちら(将来像の方向性)に向かっていくことが重要だと思います。商店街にはシャッターを閉めてしまったところもあり、代替わりによって商売に対する思い入れがなくなっていった際、ここ(将来像の方向性)に寄っていけない面もあると思います。サポートについてはまち活等でしていきたいですが、これからは共同化や循環、入れ替わりが重要だと思うので支援的な部分をより充実させなければガイドラインを策定してもそこに寄っていかないということあると思います。ここに書かなくとも支援策等を含めて議論していければ良いと思います。

座長：10ページの市民アンケートについても駅の周辺地区の人と郊外の人でイメージは違うと思うので分析をしてもらえれば様々なニーズを見ることができると思いました。また、全体として22ページのとおり「リビング」という名前を付けさせていただいています。これまでは商業機能がメインであったが、今回はいろいろな機能を目指して心地良いリビングというイメージを付けています。このあたりについては御意見頂ければと思います。

構成員：23ページ上部の図のようなことが自然とできてくること自体が商業の活性化の流れにかわってくるでしょう。商店街の中にちょっとした緑や芝生があるとそこに人が集まってくる様などもよく目にしていますので、エリアマネジメントでの公共空間の方向性として、良いと思います。

- 構 成 員：交通の話について、駐車場の御懸念があるとのことでしたが、ウォークابلを推進するにあたって駅周辺の人々には歩いてもらうことが必要です。マンションを作る方が附置義務に上乗せして駐車場をつくるのは、安心できる地域の足がまち側に備えられていないのではないかと、という懸念があるのだと思います。今後地域の住民の方々に「車を使わなくても大丈夫」という安心感を与えることは重要だと思います。また、20年後は現在車の分担率の高い地域に関しても車の台数は落ち着いてくるので、今の状況からプランを作ってしまうと20年後に車に対する空間の供給過多になる可能性があります。そのため、より歩行者に開いていくことと、また一方で歩行者の方が少ないということにならないように手を打つためのアイデアがあると良いと思います。そのような面からリビングというキーワードがあるとも思うので何か良い事例があれば今後紹介できればと思います。
- 構 成 員：この話についてはマクロとミクロがあると思います。例えば、東京都中央区などでは、附置義務のあり方などが検討されていると伺っていますが、駐車場出入り口の場所をずらすだけでも、まちのあり方が変わることもあり、やれることがある可能性もあると思います。工夫することでウォークابلや使いやすさにつながっていくことがあるかもしれないので、今後うまく組み立てて考えることでより近い実現が検討できるのではと思います。
- 座 長：駐車場については集約の仕方についても検討できればと思います。また、車については荷下ろしの駐車についてもありますので、検討していただければと思います。
- 座 長：25ページの地域資源のように、商店街などで魅力のあるものがあれば教えていただきたいと思います。
- 構 成 員：パールロード、スターモール等のアーケードの整備により、七夕祭りの際竹飾りができるように仕掛けがしてあることは平塚の特色だと思います。しかし祭りの方向性もコロナによって変わりつつあります。年に数日のイベントではありますが平塚の特性として考えていただきたいと思います。
- 構 成 員：平塚は宿場町であるので、この特徴をうまくまちづくりに活かせると良いと思います。
- 座 長：一点質問で、電線の地中化は既にされているのでしょうか。
- 事 務 局：メインの通りのパールロード、スターモール等についてはほぼ完了しております。
- 構 成 員：一度駅周辺を検討会議の皆さんで歩きたいと思いました。そのような機会を是非いただければと思いました。

- 座長：是非機会を作っていただければと思います。それでは、事務局の方から確認したいことがあればお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
- 事務局：方針の中にも市街地の更新について書かせていただいています。民間の建物の更新の際に誘導していきたい機能や建物が何かあれば教えていただきたいと思います。
- 構成員：図書館があれば良いと思います。現在のものは駅から離れておりなかなか歩いて行きづらく、古い建物なので、大和市のシリウスのような公的な機能をもった市の施設ができれば良いと思います。
- 座長：それでは以上で本日の議題はすべて終了になります。御意見ありがとうございました。事務局にお返ししたいと思います。
- 事務局：長時間にわたりありがとうございました。また、座長を務めていただきありがとうございます。以上で本日の会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

以 上